

# 令和7年度 東大阪市 LINE アンケート

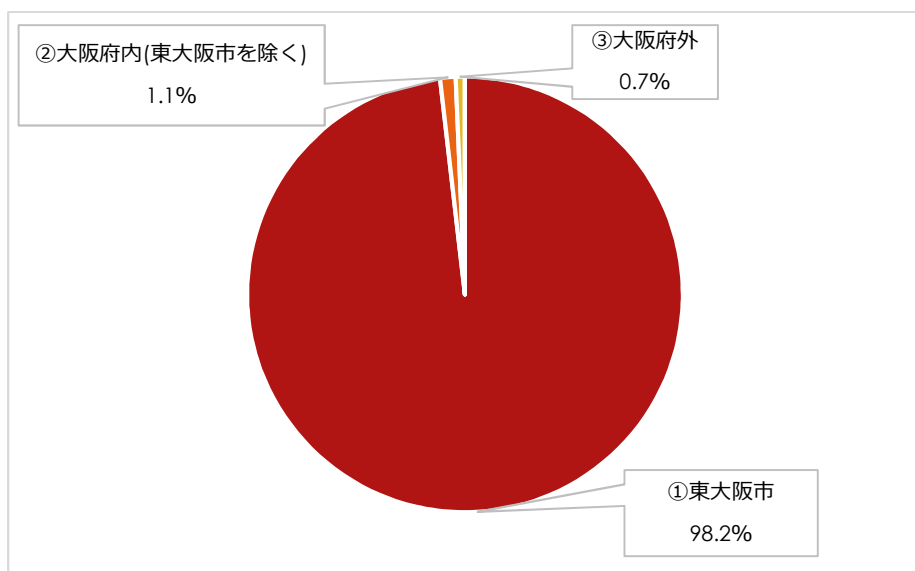
令和7年11月19日～11月26日に東大阪市 LINE 公式アカウントを活用して「子どもファーストに関するアンケート」を実施しました。

## 目的

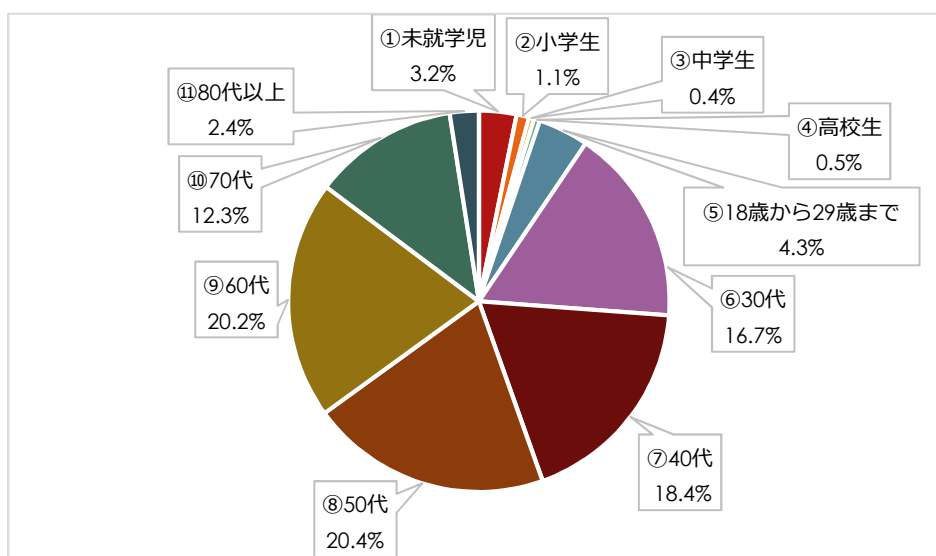
「(仮称)東大阪市子ども・若者計画」の策定に向けたアンケート。

対象者	有効回答数
東大阪市 LINE 公式アカウントの友だち	2,735 人

## 問1. お住まいを教えてください。

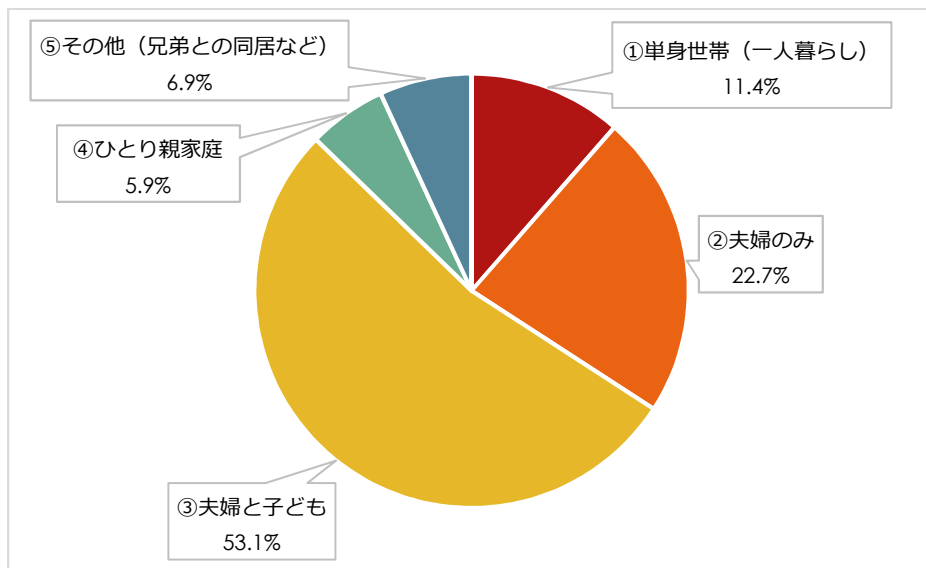


## 問2. ご年齢を教えてください。



大部分が30代以上(90.5%)の方からの回答です。

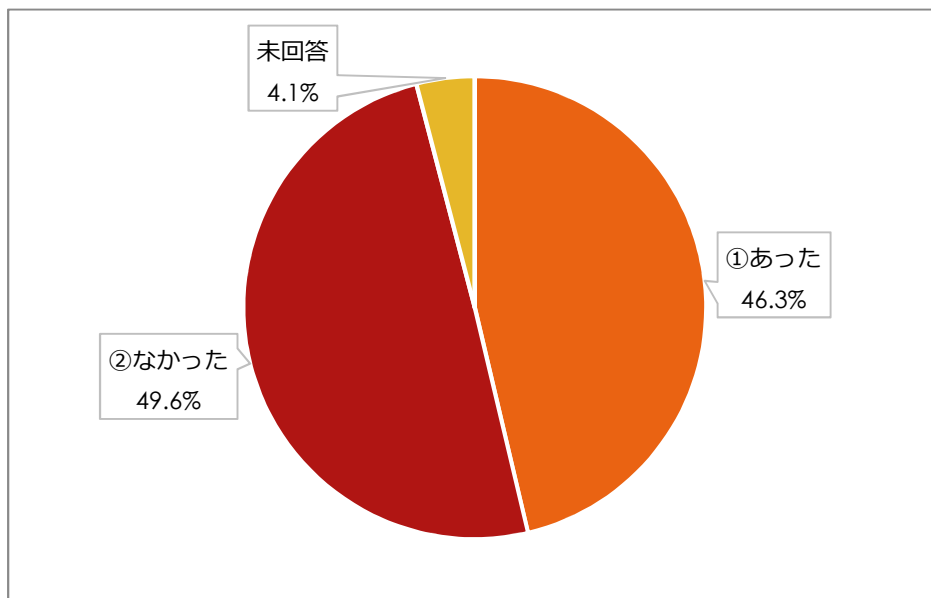
### 問3. 家族構成を教えてください。



「②夫婦のみ」や「③夫婦と子ども」の家族構成(75.8%)で大半を占めます。

### 問4. 15歳以上(中学生を除く)の方にお伺いします。あなたは中学生の頃、将来の夢や目標がありましたか。

(n=2,607)



中学生の頃の将来の夢や目標について「①あった」46.3%、「②なかった」49.6%の回答でした。

問5. 問4で「①あった」と回答した方におたずねします。それはどのような夢や目標でしたか。

(多数見られたご意見を抜粋しています)

【仕事に関すること】

- ・〇〇(医者、先生、看護師、キャビンアテンダント、宇宙飛行士など)になって働く
- ・自分の好きなこと、得意なことを仕事にする
- ・人のためになる仕事に就く     ・仕事で活躍する

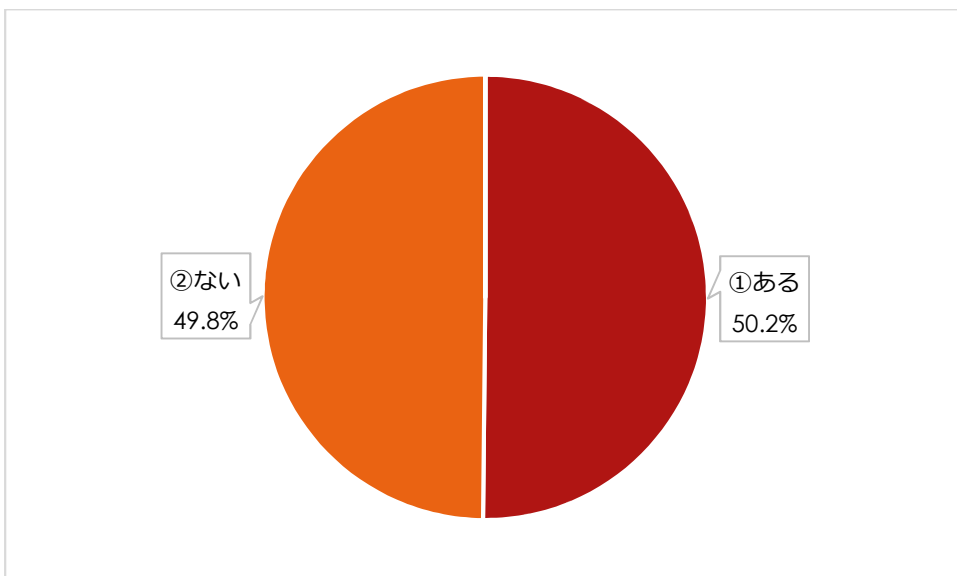
【ライフステージに関すること】

- ・なりたい職業を目指して進学する     ・行きたい高校・大学に入る
- ・幸せな家庭を持つ、結婚する     ・子どもを産み育てる(お母さん、お父さんになる)

【生活に関すること】

- ・お金を稼ぐ     ・社会の役に立つ     ・自立した大人になる     ・楽しく暮らす
- ・一軒家を持つ     ・海外で生活する     ・世界中を旅する

問6. あなたは今、将来の夢や目標がありますか。



今の将来の夢や目標について「ある」50.2%、「ない」49.8%。

問7. 問6で「①ある」と回答した方におたずねします。それはどのような夢や目標ですか。

(多数見られたご意見を抜粋しています)

【仕事に関すること】

- ・定年を迎えるまで(〇〇歳まで)元気に働く
- ・新しい仕事に挑戦する
- ・今の仕事をずっと続ける
- ・資格を取る
- ・今の仕事でステップアップする

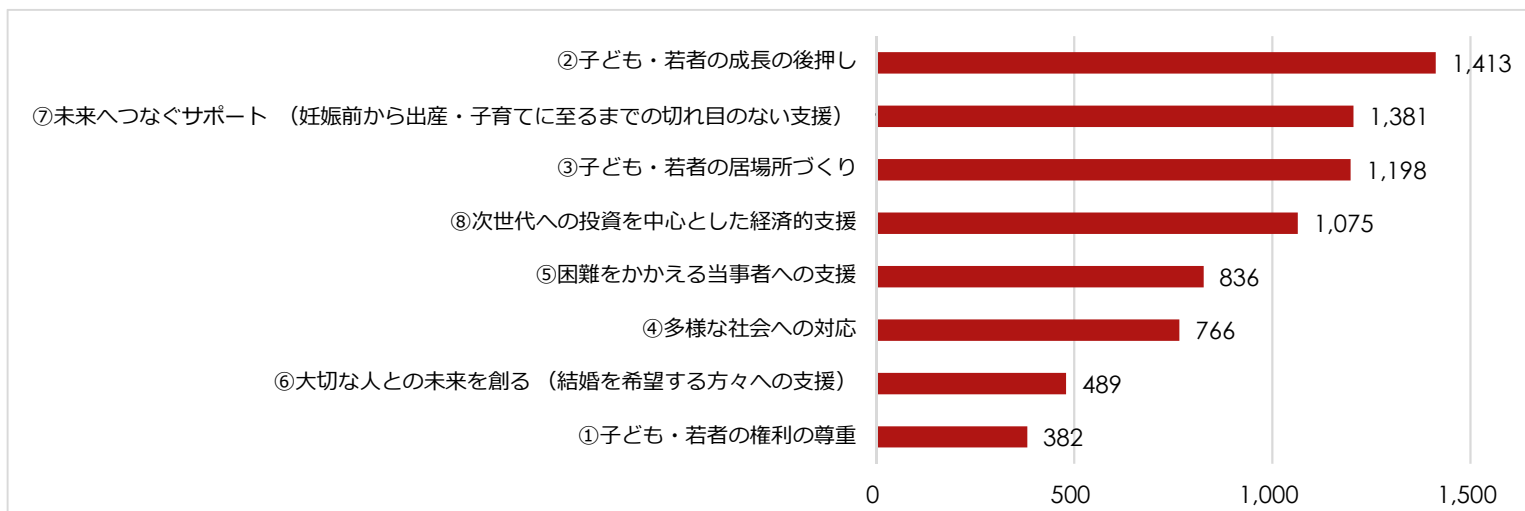
【ライフステージに関すること】

- ・子どもを産み育てる
- ・子育てを楽しむ
- ・2人目、3人目の子どもを産み育てる
- ・仕事と育児を両立する
- ・一軒家を買う

【生活に関すること】

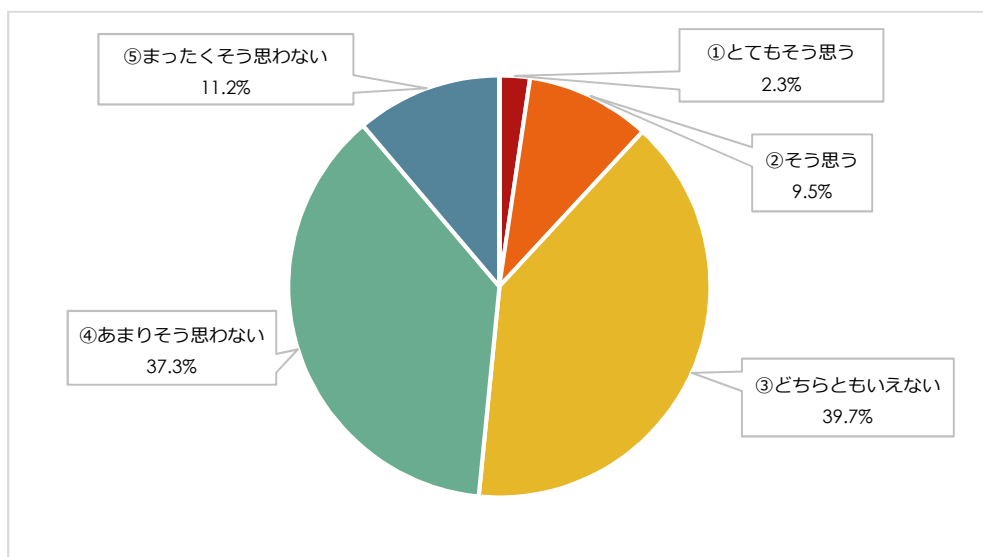
- ・健康に長く生きる、安心して老後を過ごす
- ・いつまでも家族と仲良く暮らす
- ・自分の子どもの成長を見守る
- ・自分の子どもに迷惑をかけずに暮らす
- ・新しいこと、昔やっていたこと(趣味や仕事)に再び挑戦する
- ・お金に困らない生活を送る
- ・お金を貯める
- ・もっと人の役に立つことをする
- ・全ての人が幸せに暮らせる社会になる
- ・子どもたちのためになることをする(子ども食堂を作る、子どもたちの夢を応援するなど)
- ・孫、ひ孫の成長を見届ける

問8.「子ども・若者が夢を叶えられるまちづくり」に関する内容として興味がある内容は、以下のうちどれですか。(3つまで)



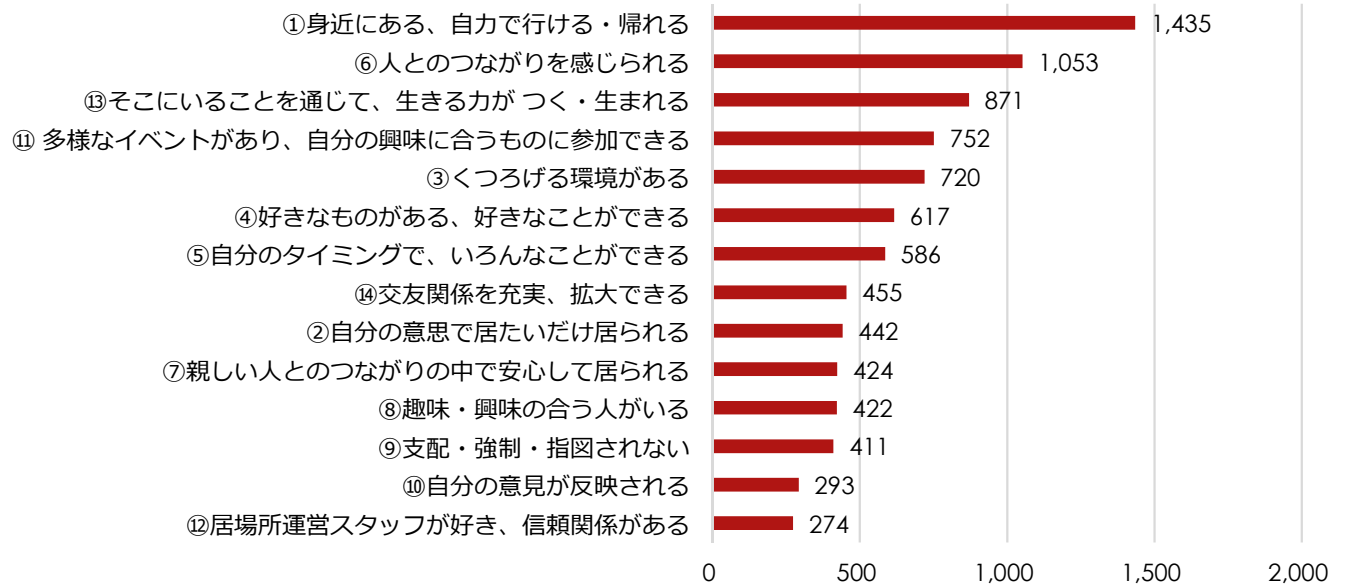
「子ども・若者が夢を叶えられるまちづくり」に関して興味がある内容は「②子ども・若者の成長の後押し」「⑦未来へつなぐサポート（妊娠前から出産・子育てに至るまでの切れ目のない支援）」「③子ども・若者の居場所づくり」が上位3つの項目となりました。

問9. 本市では、安心して子ども・若者が学びや遊びができ、居場所となる施設を充実させていきたいと考えています。あなたは、現在東大阪市内の子ども・若者の居場所は充実していると思いますか。



「①とてもそう思う」「②そう思う」を合わせた『東大阪市内の子ども・若者の居場所は充実していると思う』の回答は11.8%でした。

問10. あなたは、本市において子ども・若者の居場所にどのような要素を求めますか。(3つまで)



子ども・若者の居場所に求める要素は「①身近にある、自力で行ける・帰れる」「⑥人とのつながりを感じられる」「⑬そこにいることを通じて、生きる力がつく・生まれる」が上位3つの項目となりました。

※集計結果は、小数第2位を四捨五入しており、表記値と計算値との演算誤差が生じることがあるため、回答比率の合計が100%とならないことがあります。

※図中の(n= )は有効回答数を示しています。